

# 今、事業を進める意義は？

➔ 新たな雇用機会の創出を通じて、活力のある地域づくり、まちづくりを牽引し、沖縄の社会経済の健全な発展に寄与することです。

- ➔ 沖縄では、今後益々、**労働供給の圧力が高まる**と考えられます。
  - 2025～30年頃まで続くと予想される人口増に加え、基地の縮小、公共事業の減など様々な要因が考えられます。
- ➔ このため、沖縄の将来を担う若い世代をはじめ、働きがいのある**新たな雇用の場を創出**していくことが益々重要になります。そのとき、「観光立県」を目指す沖縄にあっては、**観光を中心とする産業が雇用吸収源**としての大きな役割を果たしていくと考えられます。
  - 沖縄の観光といえば美しい海。**この海を生かせるような環境、条件を整えることが観光を中心とした雇用機会を創出する鍵**となります。
  - 周囲を豊かな海や干潟に囲まれて誕生する**泡瀬人工島は、まさに海を生かした地域づくり、まちづくりを進めていける場**になります。また、周辺の自然環境をしっかりと保全していく、そうした努力を今から続けることで、環境を生かした産業(エコツーリズム等)の創出も可能となります。

## 今、事業を進める意義は？（続き）

✦また、沖縄県だけに認められた**特別自由貿易地域** (Special Free Trade Zone: 以下「FTZ」と略します)を生かし、世界と繋がる特色のある産業を育てていくことも、沖縄における雇用の創出に大きな役割を果たすと考えられます。

- この特別自由貿易地域 (FTZ) は、**日本で唯一、中城湾港新港地区だけに設置**されています。
- **FTZの最大のメリット**は、外国産原材料・製品を輸入、FTZ内で加工・製造を行い、外国に製品を輸出する場合、通常ならば輸入時にかかる**関税が免除されるなど諸税が軽減**されることです。この措置により、日本国内の他所に比べ安いコストで日本製品を輸出でき、**沖縄の国際的な産業競争力が高まる**こととなります。
- このFTZを有効に機能させるための鍵は、できる限り安価な輸送手段 (船舶による輸送) に直結していることであり、このためFTZと一体的に運営される岸壁が必要です。
- 泡瀬人工島は、このFTZの岸壁前面の航路・泊地の整備に伴って発生する**浚渫土砂**を活用してできる島で、**FTZと一体不可分の関係**にあります。

